

第16回シノドス 「ともに歩む教会のため～交わり、参加、そして宣教」 シノドス準備のための意見聴取

第16回のシノドスのテーマは、「ともに歩む [=シノドス的] 教会のため—交わり、参加、そして宣教」です。

シノドス準備のためにバチカンで準備された10のテーマを大阪教区では下記の質問票にまとめました。これらのすべての質問に対する「回答」を求めているのではありません。目的は、参加者全員が今日の教会に聖霊の語っていることに耳を傾け、歩むべき道を模索することです。質問票はそのための「道しるべ」としてご利用ください。

この質問に答える中で、わたしたちは次のように招かれています。

・自分たちの体験を思い出す：この質問を受けて、わたしたちの教会のうち、どのような体験が思い起こされますか。

・これらの体験をより深く読み直す：どのような喜びがありましたか。どのような困難や障害に遭遇しましたか。どのような傷が明らかになりましたか。どのような洞察が得られましたか。

・実りを集めて分かち合う：これらの体験の中で、どこに聖霊の声が響いているのでしょうか。聖霊はわたしたちに何を求めていますか。わたしたちの教会にはどのような道が開かれているのでしょうか。

各現場でまとめられた意見を2021年12月19日までにシノドス担当チームに届くようお願いします。

*送る方法としましては、できるだけ Google Forms でお願いしたいのですが、Email や Fax 郵送などでも結構です。

Google Forms <https://forms.gle/wz964W2fytv6CarSA>
E-mail: synod@osaka.catholic.jp
Fax 06-6946-1345
郵送 〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造 2-24-22
大阪教区シノドス担当チーム



意見聴取に参加する皆さんへの質問票

この意見聴取の目的は、聖霊が教会に語っていることに耳を傾けることにあります。事前に配布された質問を、可能なかぎり祈りのうちに振り返ってみてください。グループで話し合う時には、自分の祈りの成果を分かち合います。この時、議論は行わず、参加者全員が一人ひとりの話に注意深く耳を傾け、聖霊が自分の中で、また話している人の中で、そしてグループ全体の中で、どのように働いているかに注意を払います。

1. 〈旅の同伴者〉 ともに歩んでいる実感

教会生活で、ともに歩んでいると実感したときのことを思い出し紹介してください。教会から距離を取るようになった人の思いを聞いたことがありますか。共同体の一員としての意義深さを共有するには何が大切だと思いますか。

2. 〈聴くこと〉 交わりの実際を振り返る

教会で思っていることが言えない人、無視されがちの人がいると感じますか。どうしたらそういう人たちの声を聴き取ることが出来るでしょうか。

3. 〈声を出すこと〉 私たちの発信のあり方

町内会のような地域の集いに教会から参加して、地域社会とのつながりを持っていますか。職場その他で、率直に意見を言ったり、違う考えの人と意見交換することがありますか。

4. 〈祝うこと〉 典礼を振り返る

多くの人たちが交代しながら気持ちよく典礼奉仕をしていますか。一部の人たちだけが執り行うものと決めてはいませんか。その場合どうしたらより良くなると思いますか。

5. 〈宣教における共同責任〉 教会の宣教活動への関わり

宣教活動は活発ですか。新しい試みが試されることがありますか。小教区以外でも、いろいろな奉仕活動がありますが、そういった地域社会での活動を支援することがありますか。

6. 〈教会の社会における対話〉 対話する教会について

手助けが必要な地域の人たちとして、どのような人たちを意識していますか。地域の他の宗教に属している人たちと出会う機会がありますか。例えば子ども食堂などのような地域の活動に参加している人がいますか。

7. 〈他のキリスト教派とともに〉 他のキリスト教宗派とのつながり

プロテスタント諸教会の信者さんの知り合いや友人がいますか。合同のクリスマス行事や祈祷会などをしていますか。

8. 〈権威と参加〉 参加型、共同責任型の教会に向けて

いろいろな役割や責任が、同じ人に固定化する傾向がありますか。任期制や新しいメンバーを優先的に迎えるなどの工夫は、どのように可能となるでしょうか。

9. 〈識別することと決断すること〉 聖霊の導きを選ぶという教會的な決定方法を取り入れていくこと

教會での決定方法はどのようなものですか。誰かの鶴の一声ですか。多数決ですか。共同で聖霊の導きを選び取るには、どのような準備が必要でしょうか。

10. 〈シノダリティの中で自己形成すること〉 シノドス（ともに旅する）的教會に向けての養成

シノドス的教會センス（協働して取り組む）、聖霊の導きで物事を決める養成など、どのような養成がなされてきましたか。これからに向けて必要な養成はどのようなものでしょうか。

☆最後に付け加えたい思いがありましたら、お書きください。

個人

男・女 年齢(年代) _____

所属 _____

グループ

グループ名・団体 _____

所属 _____



* 多くの人の意見をお聴かせください。個人の意見も大切ですし、また家庭や友人などの小さなグループや委員会、評議会などの活動グループなどで意見をまとめてお寄せください。